

特進コースの高3生・高1生が英語でプレゼンをしました。 「コロナ後の函館をどう盛り上げるか」で 面白いアイデアがたくさん出てきました。

特進コースである K3IJ と K1IJ のコミュニケーション英語Ⅲおよび英語表現の相川先生の授業で、グループに分かれて英語でプレゼンをしました。以下、相川先生のコメントの一部を紹介します。

10月12日は K3IJ コミュニケーション英語Ⅲで『コロナが収まった後の函館観光を盛り上げよう』をテーマに5グループがプレゼンをしました。着古した遺愛の制服を袴にリフォームしての写真撮影を含むツアー、西部地区でのランタンナイト、観光アプリ作成など斬新なアイデアが次々と出ました。さすが、1～2年の時に客船ボランティアを経験している世代だと思いました。函館新聞様、市役所観光部の皆様、FM いるか様に来ていただき「生中継」をしていただき、とても緊張したようですが、良い経験をしました。

11月11日は K3IJ 標準生の英語表現の時間に行いました。テーマは『コロナ終息後のより良い社会について』でした。「遺愛大学をつくろう」「イケメン先生をたくさん採用しよう」「お昼寝時間導入」は遺愛生ならではのユニークな視点でしたし、「Make Hakodate great again」では実際に具体化できそうな函館観光の改善案が出ていました。函館新聞の飯尾さん、日本旅行の檜山さん、清水先生、伊藤先生が来て下さいました。

11月14日は K1IJ 一貫生の英語表現でした。6グループが発表しましたが、パワーポイントのビジュアル部分（図や写真・グラフ）の使い方がとても上手でした。もちろん英語のしゃべりも上手でしたが、パワーポイントを使い慣れているという印象でした。化学の原先生が最初から最後までしっかりと見学して下さい、コメントは大絶賛でした。

2020年11月24日

